

ジャパンSDGsアクション推進協議会 令和3年度事業計画

<令和3年度 活動の方向性>

昨年度の活動を通じて明らかになった課題や「SDGsアクションプラン2021」の重点事項を踏まえ、「ジャパンSDGsアクション」として3つの柱で活動を展開。年間を通じ市民レベルのSDGsアクションを後押しする。

<内容>

【柱1】普及・広報

(1) 公式「note」サイトによる発信

- ・ SDGs Peopleの活用やユース世代参画による発信を行う。

(2) 公式ロゴ、公式ポスターの活用

ア 公式ロゴ

- ・ 公式パートナーや連携イベントなどの広報に活用してもらうことで、ジャパンSDGsアクションを周知する。

イ 公式ポスター

- ・ SDGsアクションを呼びかけるポスターを制作し、協議会会員団体、公式パートナー、地方自治体、交通機関などで掲示する。
また、自由に活用してもらえるよう、HP等でデータを公開する。

(3) メディアとの連携による発信

- ・ 新聞、雑誌、テレビ等のメディアと連携し、ジャパンSDGsアクションの普及を行う。

【柱2】SDGsアクションの拡大

(1) 全国の未来都市・SDGsに取り組む団体(R2 フェスティバル登壇者等)・企業等の活動との連携

- ・ 各地域や団体の取組みを「連携イベント」と位置づけることで、協議会のネットワークの拡大を図り、全国的なSDGsアクションの創出、裾野の拡大を図る。

(2) コロナ禍におけるSDGsアクションの拡大(SDGsを活用した社会的課題解決)

- ・ コロナ禍における社会的課題の解決に向け、SDGsの理念とパートナーシップをテコに、多様な主体の参画を促し、共助の取組みを拡大する。

【柱3】SDGsアクションの収集・発信

(1) SDGs白書の発行

- ・ 日本のSDGsの取組みを指標と専門家の寄稿でまとめる年鑑の第3号を

発行する。

(2) SDGsアクションに関するデータ収集の検討

- ・ GSDR 2023に向け、具体的な変革を起こすSDGsアクションとは何かを分析するためのデータの収集を検討する。

(3) 活動発表の場「SDGsアクションフォーラム（仮称）」の開催

- ・ 年間の取組みを集大成として発表する場として、「SDGsアクションフォーラム（仮称）」を開催する。

〔内容（案）〕

- ・ GSDRセッション
- ・ 先進事例共有セッション（協賛企業登壇）
- ・ SDGsアクション活動事例の共有
- ・ 地方自治体・企業セッション
- ・ UNDP連携セッション

<SDGsアクションプラン2021重点事項>

- I 感染症対策と次なる危機への備え
- II よりよい復興に向けたビジネスとイノベーションを通じた成長戦略（民間活力）
- III SDGsを原動力とした地方創生、経済と環境の好循環の創出
- IV 一人ひとりの可能性の発揮（次世代・ジェンダー）と絆の強化を通じた行動の加速